

2026年度入学者選抜問題(専門科目)

受験番号						氏名	
------	--	--	--	--	--	----	--

問題 1

- ① 適用年齢は2歳～成人である。
- ② 生活年齢2歳0か月～13歳11か月の被検査者を対象とした場合、結果の主要な指標として、偏差知能指数（DIQ）を用いている。
- ③ 1～13歳級までの問題の実施方法は、田中ビネー知能検査Ⅴ（ファイブ）までと変わっていない。
- ④ 生活年齢14歳0か月以上の被検査者を対象とした場合の結果の指標は、領域別 DIQ・総合 DIQ である。
- ⑤ 生活年齢2歳0か月～13歳11か月の被検査者を対象とした場合、結果の主要な指標は偏差知能指数（DIQ）なので、精神年齢は算出できない。

- ① 文は小さい単位から構成され、その各単位間に見られる文法規則を、何らかの構造論的根拠を持って明示することを目的としている。
- ② ある言語の話者が共有する社会知である階層の構造を差異の体系として記述することを目的としている。
- ③ 言語のアクセントなどの音を記述し、その歴史的変化の過程、そこに見られる原則を追求することを目的としている。
- ④ 伝統文法の中で、語形の変化とその構成を記述することを目的としている。
- ⑤ 言語の使用や理解を状況との関わりで解明することを目的としている。

問題3

ニューヨーク縦断研究によって Thomas, A. と Chess, S. が見出した、乳児の気質の3つのタイプについて、次の選択肢の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 時間がかかる子ども — 扱いやすい子ども — 気難しい子ども
- ② 多動の子ども — 扱いやすい子ども — 気難しい子ども
- ③ 多動の子ども — 扱いやすい子ども — 反応が薄い子ども
- ④ 過敏な子ども — 笑顔が少ない子ども — 安定した子ども
- ⑤ 過敏な子ども — 時間がかかる子ども — 笑顔が少ない子ども

問題4

高齢期以降の適応方略として Baltes, P. らが提唱した「選択最適化補償理論」についての次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 選択した目標に向けて上手くいくやり方を工夫することで、経済的な補償が得られる。
- ② 著しく身体機能が低下した場合においては、基本的信頼を獲得することが残りの人生への補償となる。
- ③ 自らが選んだ活動にむけて、必要な場合には機能低下を補いながら、上手く行くやり方を工夫することにより、適応が可能となる。
- ④ それまで選択していた物質主義的な価値観を、宇宙的で超越的な価値観へと変えることにより、生活の最適化を図ることが可能となる。
- ⑤ 生活の質を担保し、肯定的な感情体験を得やすい活動を選択することにより、適応が可能となる。

問題5

自律神経系に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. 交感神経の活動が亢進すると、気管内径が狭まる。
- B. 交感神経の活動が亢進すると、血糖値が上昇する。
- C. 副交感神経の活動が亢進すると、瞳孔が散大する。
- D. 副交感神経系の活動が亢進すると、胃腸の運動が活発になる。

- ① A C
- ② A D
- ③ B C
- ④ B D
- ⑤ C D

問題6

次の症候と疾患の組み合わせの中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 観念奔逸 —— 双極性障害
- ② 思考途絶 —— 大うつ病性障害
- ③ 対話性幻聴 —— 統合失調症
- ④ 記銘力障害 —— 認知症
- ⑤ 情動麻痺 —— 心的外傷後ストレス障害

問題7

WISC-V の5つの主要指標とその下位検査の組み合わせの中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 言語理解 —— 語音整列
- ② 視空間 —— 絵の概念
- ③ 流動性推理 —— パズル
- ④ ワーキングメモリー —— 絵のスパン
- ⑤ 処理速度 —— 積木模様

問題8

強迫症に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 強迫症は子どもでも発症する。
- ② すべての強迫症の患者に病識がある。
- ③ 強迫症は、DSM-5-TRにおいては、強迫観念と強迫行為のどちらか、または両方が存在している場合に診断される。
- ④ 発症には遺伝的要因の関与が指摘されている。
- ⑤ 強迫行為に家族が巻き込まれる場合がある。

問題9

精神分析とそれに関連する人物の組み合わせの中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 反復強迫 —— Klein, M.
- ② 偽りの自己 —— Winnicott, D.W.
- ③ 自由からの逃走 —— Mahler, M.S.
- ④ 再接近期 —— Freud, S.
- ⑤ 妄想-分裂ポジション —— Fromm, E.S.

問題10

精神分析的な考えを基にしたプレイセラピー（遊戯療法）におけるセラピストの態度についての次の記述のうち、最も適切な組み合わせを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- A. セラピストは、子どもの表情を見るようにする。
- B. 沈黙が長くなっても、口をはさまない。
- C. 子どもの行為をほめる。
- D. ゆっくり、はっきり話す。

- ① A B
- ② A C
- ③ A D
- ④ B C
- ⑤ B D

問題11

次のロールシャッハ・テストに関する用語とそれに関連する人物の組み合わせのうち、誤っているものを下の①から⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 知覚分析 —— Piotrowski, Z.A.
- ② 包括システム —— Exner, J.E.
- ③ 逸脱言語表現 —— Beck, A.T.
- ④ 精神診断学 —— Rorschach, H.
- ⑤ R-PAS —— Meyer, G.J.

問題12

集団における同調行動に関する次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 人数が多ければ多いほど斉一性効果が強まる。
- ② 集団凝集性が高いほど促進されやすい。
- ③ 課題の重要度や困難度が増すほど促進されやすい。
- ④ 自己の判断と他者の判断のずれが大きいほど促進されやすい。
- ⑤ Asch, S.E. の知覚実験は同調行動を調べる実験である。

問題13

次の心理検査とそれに関連する人物の組み合わせの中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① P-F スタディ —— Murray, H.
- ② TAT —— Folkman, A.
- ③ バウムテスト —— Koch, K.
- ④ HTP —— Szondi, L.
- ⑤ SCT —— Beck, A.T.

問題14

知覚についての次の記述の中から、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 知覚の恒常性とは、刺激対象が変化する内容がありのまま知覚される現象のことである。
- ② Rubin, E.J. によると、異質な 2 領域があって形が知覚されることを、図と地の概念から説明した。
- ③ 群化が生じる要因をゲシュタルト要因と呼ぶ。
- ④ プレグナンツの法則は Wertheimer, M. により提唱された。
- ⑤ ゲシュタルト要因には「近接」、「閉合」、「類合」などがある。

問題15

エクスポージャー法の理論的基盤として次の選択肢の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① オペラント条件づけ
- ② 心的外傷理論
- ③ レスポンデント条件づけ
- ④ アタッチメント理論
- ⑤ 学習性無力感理論

問題16

心理統計学における 95%信頼区間の説明に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 母平均がこの区間に含まれる確率は 95%である。
- ② 任意の個人のスコアがこの区間に入る確率は 95%である。
- ③ この標本の平均がこの区間に入る確率は 95%である。
- ④ 同じ方法で何度も標本をとって信頼区間を作ると、そのうち 95%が母平均を含む。
- ⑤ 標本の分散の 95%がこの区間に含まれる。

問題17

児童虐待とその対応に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 心理的虐待とは、児童に身体的な苦痛を与えることを意味し、言語的な暴言は該当しない。
- ② 医師や教員は、児童虐待の疑いがあるとき、保護者の同意を得た上で児童相談所に通告する義務がある。
- ③ 面前 DV は、家庭内暴力であっても児童への直接的影響が証明されない限り、児童虐待として扱われない。
- ④ 児童相談所は、虐待の通告を受けた場合、必ず家庭裁判所の指示を得て調査・介入を行う。
- ⑤ 一時保護所に措置された児童に対しては、臨床心理士等の専門職による心理的ケアが実施されることがある。

問題18

自殺問題と心理専門職の関わりに関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 自殺をほのめかす発言があっても、本人の意思を尊重するため、具体的な介入は避けるべきである。
- ② 自殺は突発的に起こるため、事前のサインや予兆に注目しても予防にはあまり役立たない。
- ③ 自殺念慮のあるクライアントに対しては、死について話題にすることは逆に自殺を促す可能性があるため避けるべきである。
- ④ 自殺リスクが高いと判断される場合、心理専門職は本人の同意がなくても、関係機関や家族との情報共有を行うことがある。
- ⑤ 自殺は主に性格の問題によるものであり、心理専門職の介入によって予防できる範囲は限定的である。

問題19

労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① ストレスチェックは、50 人未満の事業場においても義務である。
- ② ストレスチェックの結果は、労働者の同意を得た場合に限り、事業者を提供することができる。
- ③ 高ストレス者と判断された労働者は、産業医との面接指導を受けなければならない。
- ④ ストレスチェックを規定通りに実施しない場合、企業に対して罰則が課せられている。
- ⑤ ストレスチェックの対象は、常時雇用されている労働者のうち管理監督者を除く者である。

問題20

心理専門職の守秘義務に関する次の記述の中から、正しいものを一つ選びなさい。

- ① 要保護児童対策地域協議会で知りえた内容については本人からのカルテ開示の開示対象にできる。
- ② クライエントが未成年の場合、保護者には常にすべての情報を開示しなければならない。
- ③ 基本的にはクライエントの同意がある場合に限り、支援に必要な範囲で情報を第三者と共有することができる。
- ④ 支援の内容を学会で発表する際、個人が特定されなければ、クライエントの同意は不要である。
- ⑤ 所属機関の上司の指示であれば、クライエントの情報を同意なく提供しても構わない。

Ⅱ. 次の専門用語について説明しなさい。

- (1) ピグマリオン効果
- (2) サイコロジカル・ファーストエイド